

2024年10月31日

各位

株式会社三井住友銀行

リョービ株式会社に「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、リョービ株式会社（代表取締役社長：浦上 彰）に「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を実施いたしました。

「SMBC 社会課題解決推進支援融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業の社会課題解決に向けた取り組み状況を確認した上で、①組織の社会課題への取り組み姿勢等に対する所見と、②ロジックモデル（事業活動を通じた社会課題への道筋を見える化したもの）の仮説を提示し、今後の取り組み推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、リョービ株式会社については、以下に記す事業を通じた社会課題解決について、取組推進に向けたアドバイス等を提供しました。

① アルミダイカスト製品の提供や事業の脱炭素化を通じた、気候変動の緩和等への貢献

事業内容	自動車部品用アルミダイカスト製品を製造、販売しておられます。また、製造にあたっては、原料の95.3%をリサイクル材料で賄っておられます。
当該事業を通じて解決を目指す社会課題の概要	世界の平均気温は上昇し続けています。2023年は最も暑い年となり、産業革命前と比べて1.5℃近く上昇しました。気候変動は企業に様々なリスクをもたらします。海面上昇により沿岸部の工場の操業停止を余儀なくされるリスク（「物理リスク」）や、国による規制等の強化により事業活動が制限されるリスク（「政策リスク」）、社会・消費者の需要の変化により事業機会が縮小するリスク（「市場リスク」）等が考えられます。
社会課題解決への貢献内容	貴社のアルミダイカスト製品が自動車部品として搭載されると、鉄製の部品と比較し搭載した自動車は軽量化し、燃費、電費性能が向上することで、走行時に排出されるCO2を削減することが可能です。また、製品をリサイクル材料で製造することで、新規地金から製造するより必要エネルギーを抑制できるため、自社製造工程で排出されるCO2を削減可能です。さらに、リサイクル材の利用率の向上は、アルミ部品の廃棄量削減に寄与すると共に、新たに使用する資源量削減にもつながります。また、自社の事業活動に伴うCO2排出量の削減に向けて、「2050年までにカーボンニュートラルを達成する」という長期目標を設定し、省エネルギー設備の導入促進や再生可能エネルギーの利用を進めておられます。

株式会社三井住友銀行では、「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を通じて、お客さまの幅広い社会課題解決に向けた取組を支援することで、お客さまとともに社会的価値創造の好循環を生み出す取組を推進してまいります。



自動車の軽量化に貢献するアルミダイキャスト製品



環境性能の高い設備を導入
(リョービミラサカ株式会社)



タイのダイキャスト製造工場の太陽光発電システム

以 上